



平成27年8月12日(水) 第274号



弘前市立第四中学校29名が参加 岩木川で水生生物調査を実施



記念撮影 (弘前市和田町：水辺プラザ)

国土交通省では、河川に生息する水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。

青森河川国道事務所においても、8月4日(火)、弘前市立第四中学校の生徒29名に参加いただき、水生生物調査を行いました。

調査は弘前市内を流れる岩木川の水辺プラザ(弘前市和田町)で行われ、河川に生息する水生生物を指標とした水質の簡易調査のほか、透視度計を使った水の透明度の測定や、パックテストによる水質調査を行いました。

実際に川の中へ入り行った水生生物調査では、【きれいな水】に生息する【ヒラタカゲロウ】の仲間などが多く見つかり、河川や環境への関心を高める良い機会となりました。

なお、8月26日には、板柳町立板柳南小学校の生徒の皆さんが、同調査を実施する予定です。

▼水生生物調査の様子▼

